



東樹
園撰
月次發句合

5

2849

6
7
8
9
20
1
2
3
4
5
6
7
8
9
30
1
2
3
4
5
6
7
8
9
40
1
2

利5
2849

先生撰
事樹園

月次發令

玉品文庫

二六〇

月次

北山
集

北山集



正月分

雪の
山

山
の
松

松
の
山

松
の
山

余男やうの
花春
遠る
郎



三
行
重



こく
の
光

子

三
夕カ十三
竹
三
波
柳
波
琴
ハフカ
芦
秀
ハヒ
暮
カキヤ
登
里

二 昇
ミラ大ナリ
踏 月
花 春
トマナ
風 月
ヤフ
三木更
象 遊
大ナキ
可 脱
トコナノ
一 調
大ナキ
智 遊
芦 舟
白 蓮 舌
波 菟

橋を木の枝よりあつた雲の
 破るをさかしく様や梅の
 移るをさかしく山乃家
 霞より山乃日紅の雲の
 欠けさかしく田の畦の
 外よりさかしく雲の
 風よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 梅の枝よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の

和合 普扇
 イハクシ 湖曉
 和合 梅月
 ミラカク 高馬
 やサツ 夢得
 大カキ 里雪
 里川
 里
 梅
 和合

日影の枝よりさかしく雲の
 山乃雲の枝よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の
 雲よりさかしく雲の

フレモリ 一 梅
 一 相
 月免
 林花
 可矢
 解井
 露政
 花遊
 高夢

唯人の方々をわたり梅の花
 其を焼くくわりのほろ夕暮
 地より伝達しあり梅の花
 つら先を梅の盛るやけの梅
 梅咲や障子のうちもあけ
 花本梅抄とてさや梅屋敷
 梅屋敷の藤のうさや梅の妻
 走る妻や妻の梅がうさや
 咲や梅りかけややと障子
 山腰々ぬの梅りうさや
 その部の一はうさや梅屋敷

吾等 カキヤ
 正義 カキヤ
 花月 ヒラ
 一方 カキヤ
 梅幽
 善月 カキヤ
 古松 ミノカイケ
 花光 カキヤ
 風穴
 雨大庭

梅咲や 日南しとて 僕ひとり
 走る妻や 妻のありふの乃じ
 イーとてえとて 梅や梅
 飛ぶ目や 走る馬と追う
 走る妻や 妻のありふの乃じ
 山より伝達しあり 山の西の梅
 梅屋敷に梅屋敷とて 梅屋敷
 梅屋敷や 梅屋敷とて 梅屋敷
 梅屋敷の梅屋敷とて 梅屋敷
 梅屋敷の梅屋敷とて 梅屋敷

青雲 フシモリ
 里雪 ミノスノシ
 霞夕 カキヤ
 如月 カキヤ
 静柳 カキヤ
 正高 カキヤ
 花月 ヒラ
 梅林 カキヤ
 何露
 文雅 ミヤ

空を飛ぶとまゝにむきや月の梅
 魚のふらん海静まりやう雲
 帆をまゝに舟もくもぬるうか
 井垣の中よりあやうくのち
 温もりをうけあふむ梅うか
 遠くかゝ眼をうや梅のもろさ
 肩をうけあふむ梅うか
 梅新しうかに園やうろちの中
 江の梅や舟かゝあゝ下姑の竹
 空の梅やうろち

止通 其山 古松 和合 巴亭 易処 蘆江 章甫 子雀

下具 吟水七市 仰天舟 萬葉の門人

下具 二〇〇兆



二月 白雄
 月々々々 山々々々
 首切女 蛙うか 川二

二〇〇兆

手宮きつゝ船のそねや朧月
 山鏡るすり押さる月朧
 出伐やそにちりねるおね
 館るこの年又日の思ふいふ
 小娘の竿に陰をけ岸をふ
 石例もそよりねやきく
 名灸のあそとさうやひん
 二般しく船や修岸の横後し
 お伐やさうさうのさう
 馬あきく舟のこし今も鹿うね

柳 雨
 フレモリ
 大カキ
 舟 山
 三ノ木
 梅 幽
 長クテ
 二 露 鋪
 三ノ木
 露 夕
 雅 流
 花 竜
 花 剛
 和 水

神の糸の終も朧るり煮の月
 橋生けし方へさしむ新い
 端折つゝきに伸やほくく
 〇
 流くし橋もけきり酒むふ
 一回おけしきひうん
 中地ききききき二階のち
 汐瓶かききききき
 新あきききききき
 陣くおあのかき酒やきき
 ねく月や朧るるり

二 溪
 三ノ木
 塘 陽
 東 松
 国 鼎
 大カキ
 可 悦
 鶴 阜
 和 水
 乙 川
 一 石
 文 雅
 一 二 三
 一 桐

三ノ水 藍江
フシキ 花青
大カキ 文雅
カキヤ 千雀
三ノ水 高島
イナギハ 笑靨
外漢更 對臨
三ノ水トミ 竹筵
カキヤ 圃耕

今尾 李 木 舟 山 松 堂 柳 柏 一 相 二 侯 一 謝 義 月

[illegible]

和合
雲雄

聖
子

金玉函

大力丰

為

卷之十

井

上

松

三

聖

西華

五

二

美

七

[illegible]

大力キ

五

ヒ
ラ

考

2

集

三

松

二二

雲

左

斗

4

猿

3

溪

大古キ

道

永合

月

一

水

花光 智光 里 器友 花盛 月兔 天水 琴瑟女 三溪

五平 五 雲
力キヤ 造 水
風 允
里 雪
乙川 一 石
アレト 清 涼
五平 一 誠
ヒラ 里 鶏

遠くへ あうぬそしつゝ
 名名の既連れりや 何處か
 けりや けりや 燈籠の煙り
 多きて 燈籠の念佛の煙り
 煙りあつて手にあつて けりや
 けりや けりや 煙りあつて
 山星や けりや けりや 月の
 影 けりや けりや けりや 月の
 影 けりや けりや けりや 月の
 影 けりや けりや けりや 月の

左京 柳船
 カキヤ 文雅
 トコナ 梁水
 カキヤ 明光
 セト 湖路
 ヒロ井 一松堂
 竹里
 豊高

ち所と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と
 お中と お中と 後今と 徳岸と

カキヤ 豊高
 フミモリ 一松堂
 ミノカキ 竹里
 カキヤ 武村
 カキヤ 雪窓
 カキヤ 各泉
 カキヤ 壽郎
 カキヤ 波龍

何處もなき夕ぐれや 朧月
 風のあゝ鳴きや田の草うふ
 中々 猿と肩あゝ肩や紙月
 一すいの田子集うゝさゝかきつ
 夕と 溪のうらしき川 蛙
 堀はく 萩をききんひうゝふ
 玉垣の中にも かがりほく
 如代や 雪よりきき色きとの
 吹雪れゝ 無七 菊うゝ朧月
 夢 瑞んゝり糸の

トコナシ 其山
 梅雪
 大カキ 浦崎
 和合 千多
 花莖
 大カキ 幽流
 枕流
 三溪
 永ハ 梅林
 了興

こく日兆



馬の脊より
 三月分
 眠
 蝶の影
 古ワタリ 蓬隣
 梅雪 雄

法新傳より盛なりてさるるにみえ
 振りのとるれを主たりまの
 イーととるるをいふを友
 出の糸のけりてさるるにみえ
 落るるに際の時をいふ水の上
 舟よりさるる落るるにみえ
 情のさるるにみえに門トの際
 りは換へてさるるにみえ
 水よりさるるにみえにみえ
 橋よりさるるにみえにみえ

波龍 アヒト
 清涼 チタハミ
 初乐 ヒロサ
 波竜 ヤサコ
 里川 ウエタ
 壽竹 カキヤ
 一二三
 吾籍
 二鼎

見し物よりさるるにみえ
 天をさるるにみえにみえ
 葉山の峰よりさるるにみえ

初乐
 柳雨
 里川

窓よりさるるにみえ
 名をさるるにみえにみえ
 天をさるるにみえにみえ
 情のさるるにみえにみえ
 舟よりさるるにみえにみえ
 橋よりさるるにみえにみえ

精新 大カキ
 光 カキヤ
 何窮
 天 ミナモト
 水 カキヤ
 藍 カキヤ
 千雀
 好月

崎々や 梳り 糸の 糸の 泡
 川風は 吹き 吹き 吹き 吹き
 千々 千々 千々 千々 千々
 松林の 松林の 松林の 松林の
 何の 何の 何の 何の 何の
 新へ 新へ 新へ 新へ 新へ
 後さ 後さ 後さ 後さ 後さ
 月 月 月 月 月
 吹 吹 吹 吹 吹
 月 月 月 月 月

乙川 一石
 カスヤ 青風
 一石
 トコナメ 松雪
 大カキ 芦舟
 可悦
 千雀
 里川
 古遊
 ヤサコ 壽得
 大カキ 巴亭

崎々や 梳り 糸の 糸の 泡
 川風は 吹き 吹き 吹き 吹き
 千々 千々 千々 千々 千々
 松林の 松林の 松林の 松林の
 何の 何の 何の 何の 何の
 新へ 新へ 新へ 新へ 新へ
 後さ 後さ 後さ 後さ 後さ
 月 月 月 月 月
 吹 吹 吹 吹 吹
 月 月 月 月 月

ヒラ 暮雪
 大カキ 志在
 トコナメ 故松
 外風
 柳竜
 柳ふ
 三ツカ 鶯義
 再可
 トコナメ 梅柄
 一寸
 大カキ 夢遊

吹風もくさんみりるるは平ど
 り何と病連ひ子何と障りく
 り何と病連ひ子何と障りく
 けつ子のあやにあらはるる
 けつ子のあやにあらはるる
 けつ子のあやにあらはるる
 けつ子のあやにあらはるる
 けつ子のあやにあらはるる
 けつ子のあやにあらはるる
 けつ子のあやにあらはるる
 けつ子のあやにあらはるる
 けつ子のあやにあらはるる

波 瀬
 ト子メ 一 調
 ヒヨ井 豊
 ミアヲ 白 水
 一 相
 高 高
 三 溪
 カキヤ 杉 島
 吉 登 機
 ミカバ 電 産
 心 齋

式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々
 式部 の 篇 々

花 花
 ヤフ 糸 遊
 和 合
 車 一 井
 カキヤ 元 調
 カキヤ 壽 齋
 ト子メ 竹 山
 イカヲ 里 雲
 湖 曉
 大カキ 里 雲
 千 山

吉川 登山 良導 仁後 佐山 山口 福壽 雪嶽 霰谷 花洞 花光 枕流

トヤマ 風月
ミナモト 夕陽
ヒギ井 霞夕
和合 夕陽
生江戸 一
ヤサフ 盛天
ミナモト 竹心
フシモリ 花春
ミナモト 湖水
三ヒラ 暮雪

シヒラ 霍香堂
水トリ 花鳥女
カキヤ 波紗
シヒラ 千雀
和合 風穴
大七斗 雲久
桃山 来山
不具 桃月



四月分

新刊

郵

日
永

麦の針
里多

椽下へ亀の

古也心為榮

波龍



大い鳴きさうほむあのかみあや
 宇城の目 延子 張く日傘
 墨の手と流るる 春を 給う
 中つち 夢て 遠る日傘に
 けい 記奥の目利 和合
 村長 残る 夢て 日傘
 虫 振る 柳 夢て 日傘
 眼 姐 あらう 夢て 日傘
 新 雷の 夢て 日傘
 前 砂 夢て 日傘

カキヤ 詩鶴
 コマキ 芝雀
 大カキ 和合 杉月
 霞松
 芦舟
 竹風
 吉川 一松堂
 竜橋
 一誠

小のうの子のう 夢て 日傘
 夢て 日傘
 夢て 日傘
 夢て 日傘
 夢て 日傘
 夢て 日傘
 夢て 日傘
 夢て 日傘
 夢て 日傘
 夢て 日傘

旭 芝
 初 糸
 精 野
 西 大 居
 以 紗
 黒 友
 コマキ 美 白
 花 玉
 雅 流
 花 玉

くまの谷のほとけもさかき川 給
勝多と色も深の、若きささき
に傳ひや日午のやけと雲のふ
うきうきと花も静かなうき
枯もささきぬあやとむの次ささ
比水よほつゝのささきあうき
坂急しきささきささきのあさき
ささきの花もささきささき
此歌のけりてりささきささき
ささきささきささきささき
ささきささきささきささき
ささきささきささきささき

トナリ 他先
リニハ 里雪
ヒロ井 廣月
トナリ 大朗
乙川 一石
うし 鶴亭
ハミヤ 坪陽
永 全
可 笑

白糸にて
若きささきささきささき
水ささきささきささき
ささきささきささきささき
枯もささきささきささき
ささきささきささきささき
ささきささきささきささき
ささきささきささきささき
ささきささきささきささき
ささきささきささきささき
ささきささきささきささき
ささきささきささきささき

三 花
ミノ公 夢傳
大 志強
今尾 梅梢
カミヤ 二川
ミヒラ 義月
トナリ 何露
トナリ 梅豆
左下 千瓢
吾 雀

賣餅 ミナモト
 花燈 カキヤ
 枕月 ミナモト
 登造 カキヤ
 波竜 ミナモト
 二三 カキヤ
 千尋 ミナモト
 来山 カキヤ
 梅林 ミナモト
 竹苑 カキヤ

カキヤ 風穴
トコナ 大朗
トヤハ 風月
カキヤ 吾吟
大カキ 龜島
可悦
芦舟
夢得
一 調
吾雀
登山
オロ川

蚤く眼のまをくづり明の境
 折くのもみかくれく麦の露
 城の石の眼の涙のさぐりや
 沿うちの石の心隙のつらさ
 城の石の目今をくづり
 山とくづりやふたふた
 石の石の石の石の石の石
 神の石の石の石の石の石
 石の石の石の石の石の石
 麦の石の石の石の石の石
 石の石の石の石の石の石
 石の石の石の石の石の石

先きうて後戻りして捨てる
 信をきくといふは縁かゝのよきあそび
 群集とたんとて争ひ日午うそ
 實かそと馬とて争ひ日午うそ
 古き秋や隣りの子孫も帰らぬけ
 楊花よるすけとて日傘我
 越して来く山のふもとまで
 雲霞果の端よりけり名残あり
 あゝ秋のあそびにきく立日傘我
 高き秋の夜のちのちのち
 来くそと見えぬあそび

つとて 留者のまかゆへ日傘を
 簾ももろきものうへに 雨を
 人のことの方へかへけり 日傘を
 ぬき 砂の跡をたたくし 雨を
 袷ももろきものうへに 雨を
 ぬき されうけし 袷をたたくし
 ぬき 袷をたたくし 袷を
 ぬき 袷をたたくし 袷を
 ぬき 袷をたたくし 袷を

里清
 五雲
 白水
 一和
 水
 廣月
 梅
 普
 柳
 可
 無



三ノ菊糸
川合
三ノ夕
一二三
日キヤ
宛文
三ノ西糸
天舟
國香
女史
吾鶴
初樂
中下
芦舟
時商

三ノ十六
梅
カキヤ
波龍
花遊
雪大庵
一 桐
三 溪
今尾
柳 雨
波龍

法 勢 々 々 動 じ じ じ じ じ じ じ
 つ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 筆 や 振 あ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 夜 ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 月 鑑 の 陽 ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 日 の 入 ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 殿 ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 檢 校 の ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ
 ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ

雲胸の文や 半月の晴る
 土を協の帳乞ふより ともあふふ
 版ある 堀・井の字 船つる
 ゆるき けふのうちえが
 戸里のちや ともあふふ
 移る 舟をさる ともあふふ
 水標は 映る ついて 取りし
 夢も 出ぬ ともあふふ

舟山 今_ナ 季_キ 禾_コ 和_ワ合_カ 千_チ 萬_{マン} 萬_{マン} 里_リ 里_リ 白_{ハク}水_{スイ} 一_{イチ}松_{ソウ} 壹_{イツ} 水_{スイ} 兔_ト 角_{カク} 登_{トウ} 逸_{イツ} 力_{リキ}キヤ

三ノ下
上ニテ
五ノ下
七ノ下
八ノ下
九ノ下
十ノ下
十一ノ下
十二ノ下
十三ノ下
十四ノ下
十五ノ下
十六ノ下
十七ノ下
十八ノ下
十九ノ下
二十ノ下

柳川
五月
黒雲
富安
汲甫
梅月
今
旭芝
夜極
壽鶴

筆や 春を 春を 春を 春の中
 春を 春を 春を 春を 春の中
 春を 春を 春を 春を 春の中
 春を 春を 春を 春を 春の中
 春を 春を 春を 春を 春の中
 春を 春を 春を 春を 春の中
 春を 春を 春を 春を 春の中
 春を 春を 春を 春を 春の中

千々子 亀雀
 ト子 有年
 ミ子 尾崎
 ト子 大朗
 ミ子 竹苗
 灰進
 押馬
 ミ子 風雨
 春雅
 里島
 千々子 仁徳

筆の 筆の 筆の 筆の 筆の中
 筆の 筆の 筆の 筆の 筆の中
 筆の 筆の 筆の 筆の 筆の中
 筆の 筆の 筆の 筆の 筆の中
 筆の 筆の 筆の 筆の 筆の中
 筆の 筆の 筆の 筆の 筆の中
 筆の 筆の 筆の 筆の 筆の中
 筆の 筆の 筆の 筆の 筆の中

カキ 千雀
 ア子 清涼
 春一 誠
 カキ 二風
 大カキ 森雀
 壽鶴
 白雄
 森鶴
 里雪
 枕流

馬御つゝ 煙の多きをあきれり
 摘てハ柄をさゝし 如くやうちも賣
 渡すを焚く 煙を包むるを
 多のふふ川の流るや 口りし時
 筆や 咄つゝ 形の強かきけ
 りと 眼よりて事あり 筆の強
 外のアラを 一ふふある ありあけ
 あらむむさうも 煙を包むるぬ
 つゝの 雲々 音あり 園ありふ
 縁縁 別々 手に
 焚陶 煙をさ

柳西 ニラツカ
 再可 大カキ
 巴亭 三ノ大モリ
 花洲
 一和
 春雅 大カキ
 花光 三ノ大モリ
 兄花
 可興

三澄年



六月分

とくしや

旭芝

悠むるの味

蜘蛛はら

汲

流るる

流るる

カキヤ

草花



三ノ大サリ 花剛
乙川 梅路
三ノ三十三 竹苗
イナキハ 笑顔
三ノ大ヤフ 板下
乙ノ 白菱舎
力キヤ 二鼎
乙川 里多
大カキ 一石
二許

大ノ 柳風
トキ
一調
梅島
梅隣
つり 柳船
ミナ 李利
酒香女
松風
吾鶴
イレハ 秀月

ヒラ 花月
一善 里多
ミカキナ 無光
トヨナ 其山
フエリ 二鼎
カキ 全
大カキ 巴亭
吉川 龜雀
フエリ 鶯山

トコナ
三
梅
一
一
一
二
三
ヒナ
コナキ
五
五
雲

和合

三侯
吉川 龜霍
ミナモト 廻葵
フシエリ
ヨリト 露政
ミナモト 鶴亭
トコノ 古松
大カキ 智権
トコノ 代先
ミナトキ 古芳

和合 松月 二石 梅雪 壽座 千雀 壽仙 何竊 芦母 一許 一寸 尾崎

淡つてもほのめりや夕もい
蟬もや夕日の影も思ふ
さへやさへさへさへさへ
蟬鳴や雨さへさへさへ
さへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへ

春華
里雪
梅雪
豊島
梅梢
其通
波龍
可笑

あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も
あふれぬのさへり原も

大カキ
舟山
花母
瀬河
雅流
三光舎
風光
花光
子山
茶場
一桃
一誠

吾鶴 千雀 藍江 風露 花英 芦舟 李樂 其笑 千鳥 合

夕トコナノ 一 方
 有年
 竹有
 可ナラトキ 頑
 苦
 仕ナラトキ 飽
 子尋
 嗽水
 白ナラトキ 名
 秀兩
 井性

月影に照るみえや
 秋の暮る時又や
 雲の影をみえや
 雨の音をきこえや
 風の音をきこえや
 雪の音をきこえや
 花の音をきこえや
 鳥の音をきこえや
 虫の音をきこえや
 人の音をきこえや

三三
 花山
 流水
 雲光
 霞夕
 鶴羨
 金興
 千鳥
 柳樂
 可興

秋の暮る時
 雲の影をみえや

